

平成 26 年度 知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンの実施状況

1 会議等の開催状況

- ・ 26 年度は、実行委員会 12 団体で活動。
- ・ 実行委員会 2 回開催。

2 キャンペーン取り組み状況

(1) 啓発品の作成

26 年度は外国人観光客に対しての強化を図るため、英語、中国語のポストカードを新規作製した。

○パンフレット（日本語）	10,000 部
○パンフレット（英語）	10,000 部
○ポストカード（日本語）	15,000 部
○ポストカード（英語）	7,500 部
○ポストカード（中国語）	7,500 部
○缶バッジ	3,000 個

(2) 啓発活動

- 横断道路開通式でのえさやり禁止を呼びかけ、チラシ、バッジ、シールの配布（実行委員会、協力団体から 20 名参加）
- 公共施設、宿泊施設での DVD 放映、パンフレット配布による啓発活動。
- ユネスコ全国大会、全国自治体環境会議でのポスター掲示、パンフレット配布
- 東京ツーリズム EXPO ジャパンにおいて、パンフレット、ティッシュの配布。
- 旅行会社向け観光プレゼンテーションにおいて、取組紹介。
- 北海道エネルギー株式会社ウトロ地区 GS ヨネザワスタンドで看板作成。
- 昨年に引き続き、宿泊施設等の観光関係者による、バッジ着用による周知。
- 車両へのマグネットステッカーによる啓発活動。

(3) 観光関係者への協力依頼

- 北海道運輸局への活動周知依頼。
- 北海道バス協会に対して、傘下事業者への周知、協力依頼。
- 日本旅行業協会北海道支部への周知協力依頼。
- 北海道地区レンタカー協会連合会への協力依頼を行い、全道6ブロックに対し、日本語、英語、中国語のパンフレット、ポストカードの配布。(計6,000部)
- フェリー運航会社(4社)に対し、船内でのパンフレット、ポスターの掲示依頼を行い、各社フェリーターミナルにパンフレットを配布した。(計2,900部)

(4) 強化月間の設定

- 知床自然センターでの特別展示(7月19日~8月31日)
- 道の駅うとろシリエトクでの街頭啓発活動を実施。

(5) アンケート調査の実施

- 効果検証を目的としたアンケート調査を実施。

3 その他

- 一般社団法人自然公園財団の機関紙「国立公園」での取組紹介。
- JCB北海道サイトにおいて取組紹介。